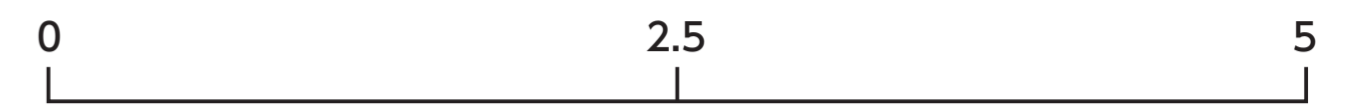
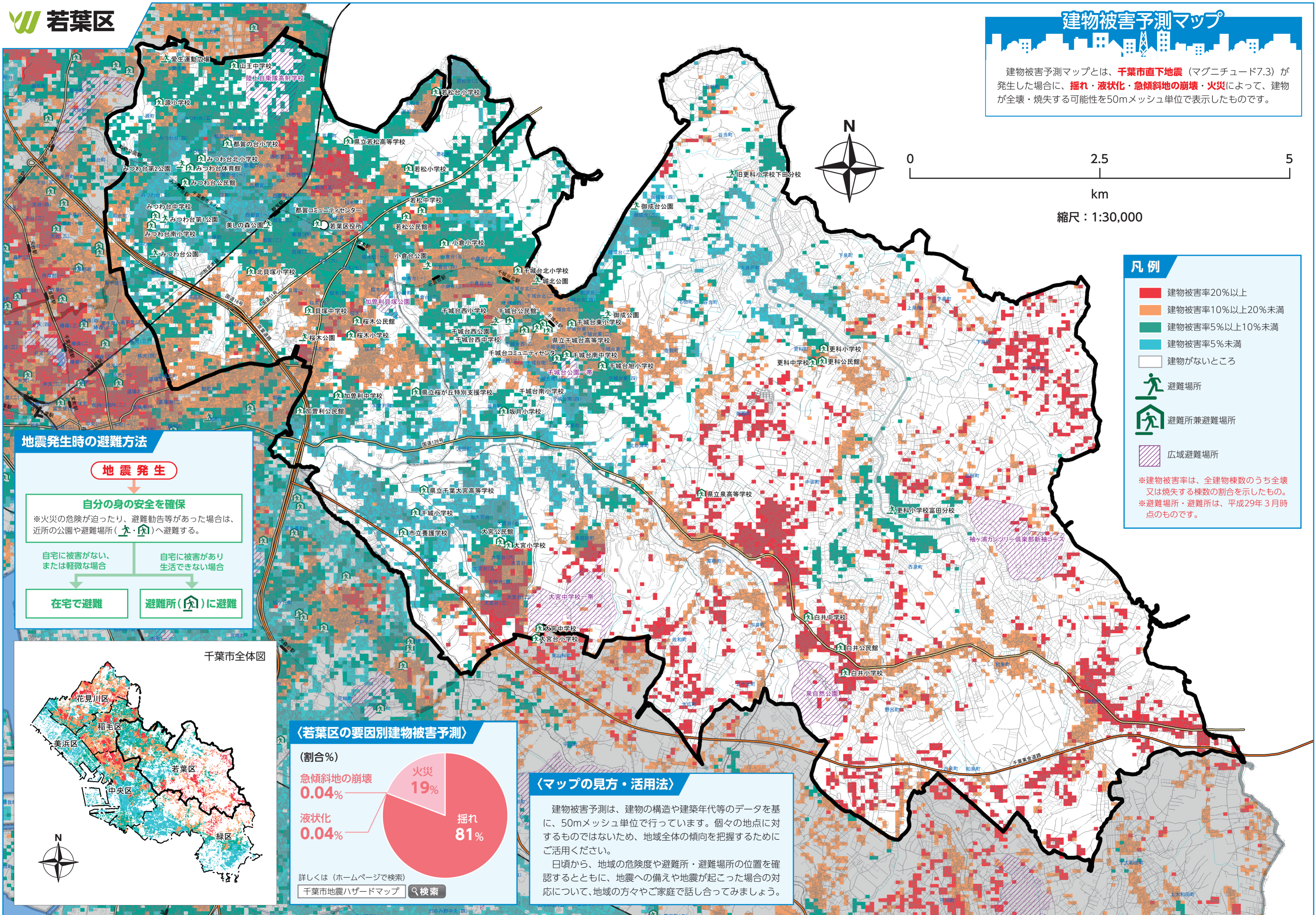


建物被害予測マップとは、千葉市直下地震（マグニチュード7.3）が発生した場合に、揺れ・液状化・急傾斜地の崩壊・火災によって、建物が全壊・焼失する可能性を50mメッシュ単位で表示したものです。



縮尺：1:30,000

**凡例**

- 建物被害率20%以上
- 建物被害率10%以上20%未満
- 建物被害率5%以上10%未満
- 建物被害率5%未満
- 建物がないところ
- 避難場所
- 避難所兼避難場所
- 広域避難場所

※建物被害率は、全建物棟数のうち全壊又は焼失する棟数の割合を示したものです。  
 ※避難場所・避難所は、平成29年3月時点のものです。

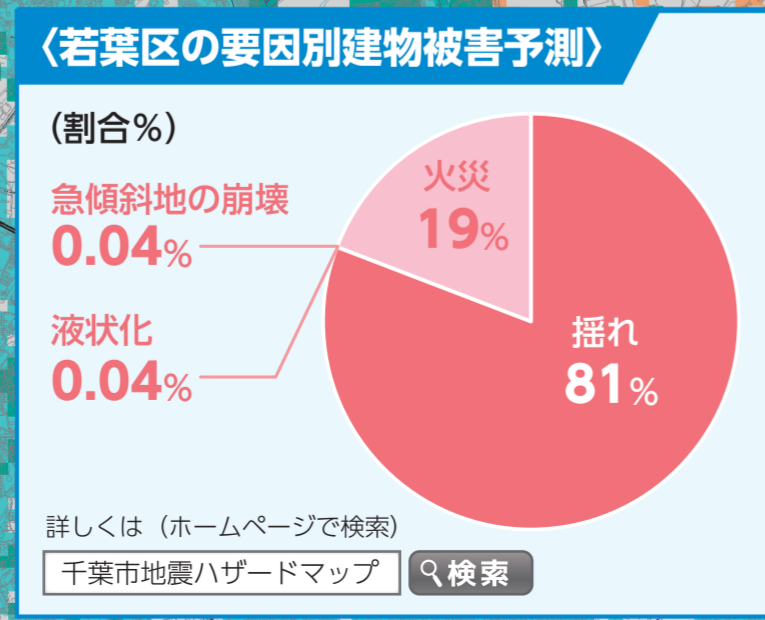
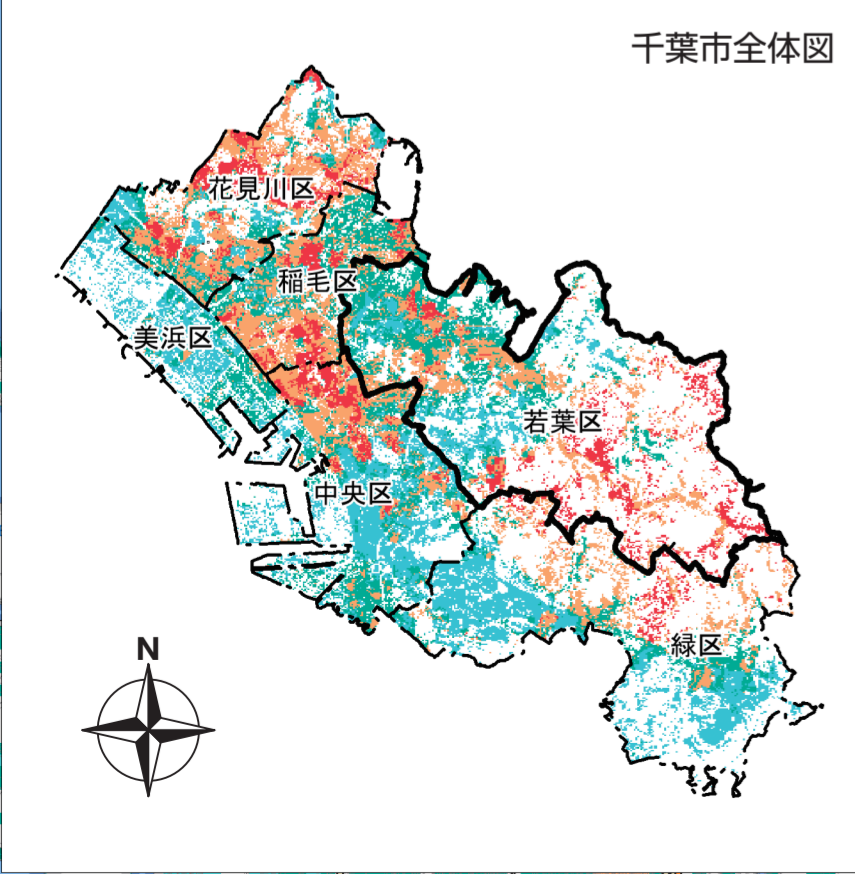
**地震発生時の避難方法**

**地震発生**

**自分の身の安全を確保**

※火災の危険が迫ったり、避難勧告等があった場合は、近所の公園や避難場所（）へ避難する。

自宅に被害がない、または軽微な場合	自宅に被害があり生活できない場合
<b>在宅で避難</b>	<b>避難所（）に避難</b>



**〈マップの見方・活用法〉**

建物被害予測は、建物の構造や建築年代等のデータに基づき、50mメッシュ単位で行っています。個々の地点に対するものではないため、地域全体の傾向を把握するためにご活用ください。

日頃から、地域の危険度や避難所・避難場所の位置を確認するとともに、地震への備えや地震が起こった場合の対応について、地域の方々やご家庭で話し合ってみましょう。